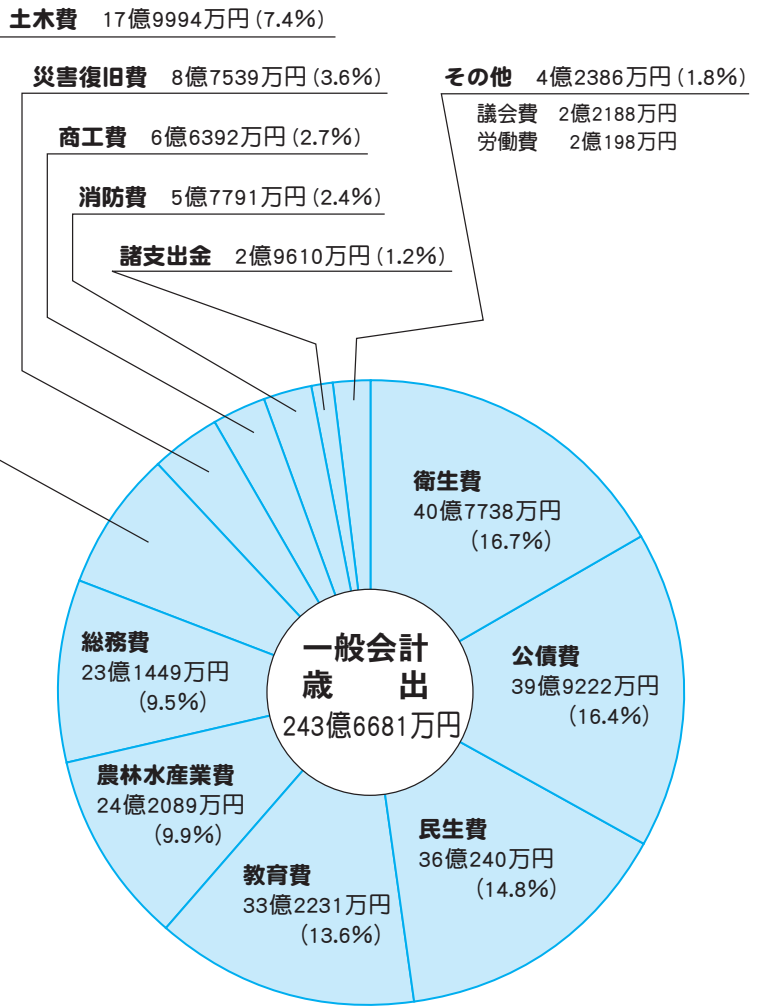
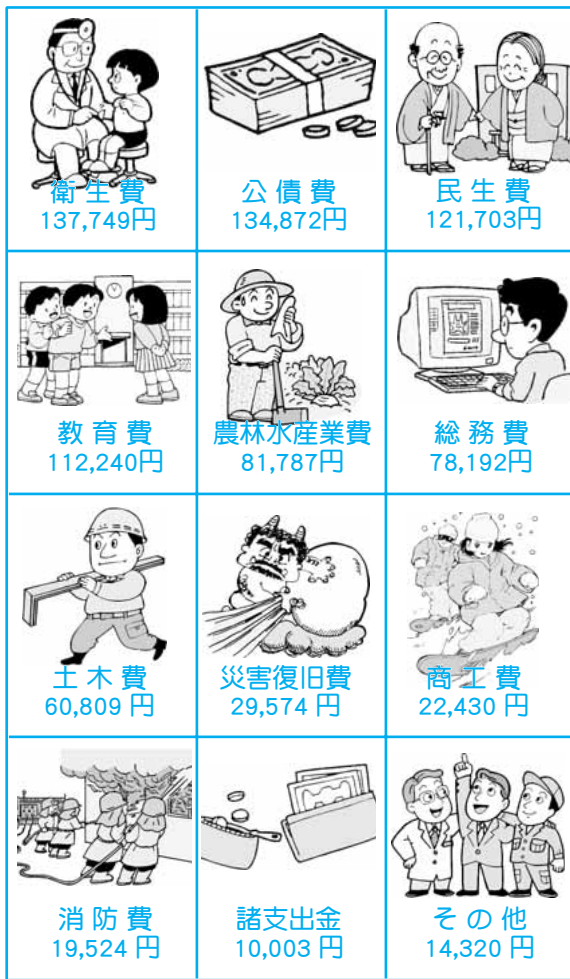


1人あたりに使われた「お金」
823,203円 (一般会計分)



※ 29,600人で計算(平成 17年 3月 31日現在)

(表 1) 市債残高の状況

	一般会計分の合計	全会計分の合計 (企業会計を除く)
平成 15 年度末 現在 高	304 億 2400 万円	625 億 9226 万円
平成 16 年度 発行 額	58 億 3080 万円	70 億 1770 万円
平成 16 年度 償 還 額 (元 金)	33 億 4267 万円	50 億 4663 万円
平成 16 年度末 現在 高	329 億 1213 万円	645 億 6333 万円
市民 1 人あたり 残 高 ※ 29,600人で計算	約 111 万円	約 218 万円

出 市民一人あたり
約 82 万円の支出

市が1年間に使ったお金が歳出です。

一般会計で243億6681万円、市民一人あたりに換算すると82万3203円となります。(左上参照)

使用道のトップは、健康診査やごみ収集、し尿処理などを行う衛生費の40億7738万円です。次に、建設事業を行う土木費の17億9994万円、大屋地域局舎建設基金4億7644万円など

です。続いて、児童・高齢者・障害者の方に対する福祉施策を進める民生費、学校の管理や施設整備などに使われる農林業の振興などに使われる農林水産業費と続いています。

さまざまな目的のために積み立てておく貯金のことを「基金」といいますが、平成16年度末の主な基金の現在高は、財政調整基金26億6995万円、地域福祉基金5億5824万円、大屋地域局舎建設基金4億7644万円などとなっています。